

議員提出議案第8号

米価の下落をおさえるため、自主流通米の値幅制限の復活を求める意見書

このことについて、下記のとおり、内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長に意見書を提出する。

平成12年9月29日

提出者	三朝町議会議員	岩井澄雄
賛成者	三朝町議会議員	杉原憲靖
賛成者	三朝町議会議員	吉田公博
賛成者	三朝町議会議員	田栗公雄
賛成者	三朝町議会議員	藤井佳夫
賛成者	三朝町議会議員	牧田武文

平成12年9月29日原案可決

三朝町議会議長 藤井 享

米価の下落をおさえるため、自主流通米の値幅制限の復活を求める意見書

生産者米価が5年間に全国平均で約6千円も下落し、政府が発表した米1俵あたりの生産費19,991円に対し、買い上げ価格は15,800円と生産費を大きく割り込んでいます。今の状況が続くなら、農家は生産意欲をさらに失い、まさに日本農業を根底から崩しかねない危機的事態といわざるをえません。

こうした事態は、5年間に輸入量が290万トンに及んでいるミニマムアクセス米が米の需給バランスを崩していること、生産者米価の下支えを廃止して市場原理にゆだねたこと、特に自主流通米の値幅制限の廃止が大きく影響しています。

国民の主食であり、日本農業の大黒柱である稲作を守ることは、農家の経営を守るだけでなく、21世紀に向けた食料自給率の向上、農村地域経済、国土と環境を守るなど、多面的な意義を持っています。

以上の点から、次の事項について強く要望いたします。

記

- 1 日本の農業を守るため、自主流通米の値幅制限を復活させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成12年9月29日

鳥取県三朝町議会